

秋分が過ぎ、太陽が沈む時間が早まり、本格的な秋の到来を感じます。2021年度は明日から下半期に入り、播磨農高は56回目の誕生日を迎えます。

55回生においては、就職試験が解禁されてから2週間が経過し、内定を得た生徒が多数います。また、専門学校へのAO入試本出願を経て、合格通知を受け取った生徒も増えてきました。進路が決定する生徒が日に日に増えていくなか、卒業までのカウントダウンが進んでいきます。一方で、出願を控えている進学希望者や2度目の試験にチャレンジする就職希望者もいます。学年全体やクラス単位で協力体制を築き、全員の進路実現を目指して、より一層学業に励んでいきましょう。

合格・内定を勝ちとったみなさんへ

試験が終わり、合格や内定を得た生徒が多くいます。たいへん喜ばしいことです。しかし、ここで気を緩めることなく、やるべきことにしっかり取り組んでほしいと思います。内定・合格を得た後にすべきことを5か条にまとめましたので、確実に遂行してください！

その①:受験報告書の作成

可能な限り詳細に書いてください。

播磨農高の財産となり、後輩たちの進路実現につながります。



その②:入学・入社手続き

進学者は合格通知を受け取った後、入学金や授業料の納付があります。納付期限に遅れると合格が取り消されることがありますので、入念に手続きを行いましょ。困ったことがあれば相談してください。

就職者は内定通知を受け取った後、速やかにお礼状を送るのがマナーです。「進路の手引き」78・79ページの見本を参考に、心をこめて書きましょ。また、内定承諾書の提出を求められる企業も多くあります。提出前に必ず進路指導部長のチェックを受けること！

その③:面接練習などでお世話になった先生方への報告とお礼

就職希望者には学校全体で6回面接練習を行い、個人でもたくさん面接練習を繰り返しましたね。きっと多くの先生方にお世話になったと思います。

結果を報告し、感謝の気持ちをしっかり伝えてください。

その④:進路がまだ決まってない生徒のサポート

進路が決まった生徒が増えてくると、決まっていない生徒は今まで以上に焦りと不安を感じます。

その気持ちを汲み取り、しっかりサポートしてください。

学年、クラスの雰囲気はとても大切です。



その⑤:授業や資格取得に励む

進路が決まっても、高校生活は終わりではありません。

授業を大切に、多くの資格取得にチャレンジするなど目標を定めて、学校生活を送ってください。

進学者は入学までの間に宿題が課されることもあり、AO入試の合格者は授業料等が減免になる特待生入試が実施される学校もありますので、積極的にチャレンジしてみましょう。

また、就職者は就職先から2学期・3学期の成績の提出を求められることもありますので、成績が急降下して入社時の評価が下がることがないようにしましょ。

特に①・②・③がまだ完了していない生徒はすぐに行ってください！

また、1回目の就職試験がうまくいかなかった生徒も、まだまだチャンスはあります。担任や進路の先生に相談しながら、次に備えていきましょう！